

川や生き物との触れ合い

大津南小の児童がアユとウナギの放流

アユとウナギの放流が4月26日に日暮橋上流河原で行われました。白川漁協組合の皆さんが白川に親しんでほしいと招待し、大津南小の4年生31人が参加しました。児童たちはアユとウナギの習性を教わった後、「ヌルヌルする～」と魚と触れ合いながら次々に放流しました。この日はアユ10,000匹、ウナギ1,000匹が放流され、児童たちは放流した魚たちの行く末を見守っていました。



バケツの中に入った稚魚を放流しました

子どもたちの健全育成を願って

町地域組織活動クラブから子どもたちへ

町地域組織活動クラブが4月25日、町内の小学4年生423人を対象に「光るキーホルダー」を寄贈しました。

これは、同クラブが児童館と共に児童らの健全育成を願い毎年行うもので、キーホルダーには「防犯標語」も添えられています。同クラブは町人権福祉センター児童館の運営を手伝うボランティア団体です。

同所で行われる行事を1年に6回程度、児童館と共同で地域の子どもたちのために活動しています。



キーホルダーを吉良智恵美教育長(左)に手渡す町地域組織活動クラブ会長の野口美鈴さん(右)

町の復興を「ゾロ」がお手伝い

「麦わらの一味」の像設置決まる

世界的人気漫画『ONE PIECE』の人気キャラクター「ゾロ」の像が大津中央公園へ令和2年度中に設置されることが決まりました。

これは県出身の作者・尾田栄一郎氏と連携して行う「ONE PIECE熊本復興プロジェクト」の一環として実現するものです。県内の特に被害の大きかった市町村を中心に同漫画のキャラクター像が8体設置予定で、来客者の増加による復興の加速化が期待されています。



©尾田栄一郎/集英社



1ゾロは同漫画の中でも屈指の人気キャラクター2県庁前に昨年設置された主人公ルフィ像には連日多くの来訪者が訪れています

子どもたちを笑顔に

ゴールデンウィーク特別イベント

道の駅大津でゴールデンウィーク期間の5月3日、子ども向けのイベントが行われました。当日を「約束の日」と題して、熊本地震を乗り越えた子どもたちに笑顔を取り戻したいと地震以降毎年行われています。グランパワーヒノクニのヒーローショーや、じゃんけん大会、お菓子のプレゼント会、握手・写真撮影会があり、ヒーローショーでは子どもたちから「グランパワーがんばれー」という大きな声が飛び交っていました。



1グランパワーヒノクニが子どもたちのために大活躍23じゃんけん大会、勝者にはグランパワーヒノクニグッズが配られました



大津つつじ祭 盛大に開催



1



2



3



4



5



6



7



8

「つつじの花とこどもたち」をキャッチコピーに、大津つつじ祭が4月21日に開催されました(主催:「大津つつじ祭実行委員会」明日の観光大津を創る会)。

昭和園では、つつじの花に囲まれたステージでの音楽祭や、公園の東屋でのカラオケマラソンが実施され、つつじと音楽で来場者を楽しませていました。

役場周辺では、旧道の一部を歩行者天国にしてパレードなどが行われました。室小の武者行列や大津睦会の勇壮な行進、保育園や幼稚園児の可愛い行進、大津中、北中吹奏楽部による演奏などで来場者を笑顔にしていました。役場北側駐車場でのステージでは、大津太鼓をはじめとした演奏、演技があり、熱心に見入る人や写真を撮る人などで盛り上がりました。

他にも出店やつつじの銘花店などさまざまな催しが行われ、つつじの花のもとで楽しいお祭りの一日になりました。

上井手ウォーキング/車いすエンジョイマラソン

4月21日上井手・水車親子ウォーキングが開催されました。上井手・下井手を含む白川用水群が世界かんがい施設遺産に登録されたことを受けて開催され、ガイドの説明を聞きながら地下水車や上井手などの散策が行われました。

同日HSR九州ではLet's 耐HSR、車いすエンジョイマラソンが開催されました。車いすエンジョイマラソンでは県内外から10人が参加し汗を流しました。

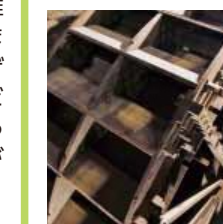


9



10

123室小の児童による武者行列や各幼稚園、保育園などによる行進が祭を盛り上げました4大人たちも負けずに力強さで盛り上げました56789ステージイベントでは子どもたちの元気なダンスや太鼓や吹奏楽による演奏があり、昭和園でもバンドやコーラスが会場を盛り上げました



11

10ガイドと今回の参加者の皆さんこの日は天候にも恵まれました11地下水車12車いすレースで白熱した展開を繰り広げる選手たち



12